

**農林水産大臣賞**  
とくていひえいりかつどうほうじん  
受賞者 特定非営利活動法人 おおつきエコビレッジ  
(山梨県大月市)

【放置された荒地を、美しく実り豊かな里山へ】

## 1 取組の動機と背景

特定非営利活動法人おおつきエコビレッジの活動拠点である大月市富浜町鳥沢地区は、生産性の低い傾斜地や小規模農地が多く、過疎化が進む中、耕作放棄地が増加していた。また、民間宅地開発事業計画が頓挫し、30年間放置され荒廃状態にあった農地・山林が地域住民の中で問題となっていた。

荒れた農地、山林を昔のようにきれいにして、自分たちが誇れる里山や農地に蘇らせたいという地域住民の思いがあり、荒廃状態の農地・山林の活用策について、市、事業者、地区住民が検討した結果、環境保全型農業、農地を活用した都市農村交流等の推進を図る目的で、国の構造改革特区による特定非営利活動法人の農地活用が提案され、平成16年12月に「大月エコの里特区」の認定を受けた。特区認定を受け、趣旨に賛同した地区住民をはじめ市内・都市部の住民など約30名が中心となり「特定非営利活動法人おおつきエコビレッジ」が設立された。設立後は、会員が週末等を利用して造成作業等を行い、4haが農地として、6haが里山として再生されている。

## 2 主なむらづくりの内容

- 荒廃状態にあった農地・山林を再生させ、古代米、しいたけ、野菜類を栽培したほか、周辺の耕作できなくなった農地の管理も請け負うことにより農地・景観の保全に貢献。収穫物は、地元直売所などで販売。
- 農業体験（米づくり体験、小麦栽培教室等）、首都圏の企業と連携した大豆生産と大豆加工品製造、市民農園の貸し出し及び営農指導の実施、収穫祭の実施などの幅広い活動を通じ、都市住民や首都圏企業の社員・家族などとの年間を通じた活発な都市農村交流。
- 地域の幼稚園や小中学校と連携した農業体験学習、市内の短期大学と連携した地域再生・地域づくりを実践的に学ぶ実習を通じ、若い世代への地域農業や農産物への理解を深める将来の担い手育成の活動。
- 地元農産物販売を推進する女性グループ「まどい」と連携したイベントの共同運営や、子育てを支援する法人と連携したさつまいも等を使用した加工食品の開発・販売により、活動の活性化と法人の経営安定に寄与。



再生された農地でサツマイモ苗植え



短大生の「地域実習」



整備された「市民農園」



農産物販売所「まどい」